

# 中央大学社会科学研究所年報第29号

ISSN 1343-2125  
編集兼発行所: 中央大学社会科学研究所  
発行日: 2025年9月30日

目次	
論文	
日本の有機農業運動とフードシステムの転換に関する考察 —神戸の提携消費者団体の事例から—	近藤 和美
国際法への第三世界アプローチ素描	西海 真樹
社会主義国家ソ連における割賦販売と破産	河本 和子
文化多様性と脱成長論—持続可能な文化的開発からの批判的アプローチ—	久保庭 慧
七重村租借地事件における二つの租借条約	武山 眞行
争点に関する情報接触と有権者の意識・行動の変容 —長野県佐久市の住民投票をめぐる郵送調査の分析—	塩沢 健一 石川 悠紀子
高等教育機関とリカレント教育 —1960年代から2000年代の行政資料の概念分析—	種村 剛
日本人の海外知識の現状	安野 智子
地球・宇宙間の相互の環境問題観測—特性と限界—	坂口 滉季
嘘の不正の二面性について—カント, コースガード, シフリン—	金 慧
模索する女子学生—戦後中央大学駿河台校舎期における—	奥平 晋
女性のライフコースと高等教育の関連 —四年制大学・短期大学・専門学校と比較—	眞鍋 倫子
公立図書館における図書館サービスの電子化と利用者支援 —東京都内の公立図書館が提供する利用教育プログラムに注目して—	小山 憲司
「推し」への行動と意識に関する比較社会学的研究 —2024年日中若者調査の結果から—	辻 泉
研究ノート	
—帯一路政策と地域コミュニティへの影響 —カザフスタン・フィールド調査と今後の課題(3)—	野宮 大志郎
内発的発展の諸条件 —カザフスタン・ジャルケントにおける人々の制約と工夫に着目して—	片野 洋平
The Impact of the Khorgos International Center for Border Cooperation ( ICBC ) on the Residents of Zharkent City ( Kazakhstan )	Nurgaliyeva Lyailya
〈中国語圏〉の拡大とラオス社会の変化 —ウドムサイ県ナーモー郡の社会関係の再編から—	首藤 明和
ラオスの漢家人と中国新移住者—ラオス北部のフィールド調査から—	賀 玉 辰
多様なエスニック・グループ出自の新旧移住者と形成途上の地域社会 —ラオス北部ウドムサイ県ナーモー集住地区の事例—	高井 康弘
大学博物館と教養教育の連携に関する試論 —カンザス大学スペンサー美術館の事例から—	横山 佐紀

<b>特別寄稿</b>	
Linguistic Justice and Minority Language Rights in International Law: Overview and Recent Developments	Mowbray Jacqueline
<b>2024年度 社会科学研究所活動記録</b>	
I 沿革	
II 構成	
III 研究活動	
IV 各種委員会	
V 研究成果の刊行	
VI 図書・資料の収集	
VII 予算・決算	
VIII 規程	
IX 「年報」執筆要領	